

資 料

- 平成22年度まちづくりアンケート報告書(抜粋)
- 長野市生涯学習推進計画目標値及び設定根拠等
- 長野市生涯学習推進計画策定委員会名簿

平成22年度まちづくりアンケート報告書(抜粋)

概要

- 1 調査目的 市民の要望を把握するとともに、市の事業や施策について市民の意見・考えを調査し、諸施策推進の基本資料とする。
- 2 調査対象 長野市内に在住の20歳以上の男女
- 3 標本の抽出 住民基本台帳（平成22年10月18日現在）から等間隔無作為抽出
- 4 標本総数 5,100人
- 5 調査方法 返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式
- 6 調査期間 平成22年11月16日（火）から11月30日（火）まで
- 7 回収結果

有効（送達）標本数	5,100通
無効（未送達、返送）標本数	0通
回収標本数	3,426通
回収率	67.2%

テーマ 生涯学習について（問12～問15）

目的 生涯学習推進計画に市民の意見を反映するため、生涯学習に対する市民のニーズを把握し、計画策定の基礎資料とするため。

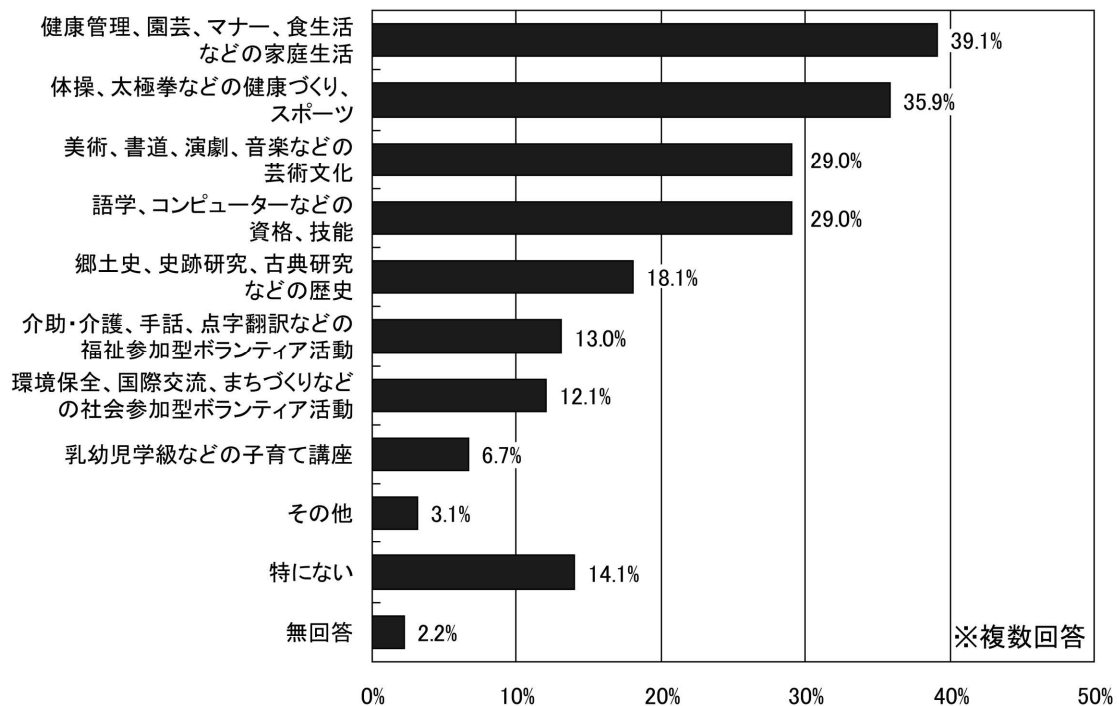
問12 あなたが現在学んでいることや、今後学びたいことは何ですか。次の中から当てはまるものすべてに○をしてください。

			乳幼児学級などの子育て講座	郷土史、史跡研究、古典研究などの歴史	語学、コンピューターなどの資格、技能	体操、太極拳などの健康づくり、スポーツ	健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活	美術、書道、演劇、音楽などの芸術文化	参加型ボランティア活動	介助・介護、手話、点字翻訳などの福祉	社会参加型ボランティア活動	環境保全、国際交流、まちづくりなどの	その他	特にない	無回答	対象
全体		度数	229	619	995	1,229	1,339	995	447	413	107	482	75	3,426		
		割合	6.7%	18.1%	29.0%	35.9%	39.1%	29.0%	13.0%	12.1%	3.1%	14.1%	2.2%	-		
性別	男性	度数	54	396	468	440	520	355	139	206	51	264	32	1,556		
		割合	3.5%	25.4%	30.1%	28.3%	33.4%	22.8%	8.9%	13.2%	3.3%	17.0%	2.1%	-		
	女性	度数	174	221	525	785	816	639	308	207	56	215	40	1,858		
		割合	9.4%	11.9%	28.3%	42.2%	43.9%	34.4%	16.6%	11.1%	3.0%	11.6%	2.2%	-		
年代	20歳代	度数	68	38	139	94	74	88	36	36	10	37	3	303		
		割合	22.4%	12.5%	45.9%	31.0%	24.4%	29.0%	11.9%	11.9%	3.3%	12.2%	1.0%	-		
	30歳代	度数	99	55	220	189	154	129	65	57	12	74	4	523		
		割合	18.9%	10.5%	42.1%	36.1%	29.4%	24.7%	12.4%	10.9%	2.3%	14.1%	0.8%	-		
	40歳代	度数	28	82	237	253	187	185	98	68	21	80	5	596		
		割合	4.7%	13.8%	39.8%	42.4%	31.4%	31.0%	16.4%	11.4%	3.5%	13.4%	0.8%	-		
	50歳代	度数	10	124	190	232	266	197	100	96	14	70	3	609		
	割合	1.6%	20.4%	31.2%	38.1%	43.7%	32.3%	16.4%	15.8%	2.3%	11.5%	0.5%	-			
	60歳代	度数	13	163	144	312	391	240	88	94	30	107	20	798		
		割合	1.6%	20.4%	18.0%	39.1%	49.0%	30.1%	11.0%	11.8%	3.8%	13.4%	2.5%	-		
	70歳以上	度数	10	156	63	148	267	154	59	62	19	111	40	589		
		割合	1.7%	26.5%	10.7%	25.1%	45.3%	26.1%	10.0%	10.5%	3.2%	18.8%	6.8%	-		
地域区分	市街地地域	度数	97	215	367	450	441	368	152	146	36	174	31	1,221		
		割合	7.9%	17.6%	30.1%	36.9%	36.1%	30.1%	12.4%	12.0%	2.9%	14.3%	2.5%	-		
	市街地周辺地域	度数	40	120	213	257	295	212	96	74	23	89	14	714		
		割合	5.6%	16.8%	29.8%	36.0%	41.3%	29.7%	13.4%	10.4%	3.2%	12.5%	2.0%	-		
	犀南地域	度数	60	156	253	314	359	247	111	115	26	122	13	880		
		割合	6.8%	17.7%	28.8%	35.7%	40.8%	28.1%	12.6%	13.1%	3.0%	13.9%	1.5%	-		
	松代・若穂	度数	11	56	75	102	115	73	42	31	10	37	4	270		
		割合	4.1%	20.7%	27.8%	37.8%	42.6%	27.0%	15.6%	11.5%	3.7%	13.7%	1.5%	-		
	中山間地域	度数	16	66	77	92	117	84	44	43	10	55	11	309		
		割合	5.2%	21.4%	24.9%	29.8%	37.9%	27.2%	14.2%	13.9%	3.2%	17.8%	3.6%	-		

現在学んでいることや今後学びたいことについては、「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活（39.1%）」、「体操・太極拳などの健康づくり、スポーツ（35.9%）」の順となった。

また、「美術、書道、演劇、音楽などの芸術文化（29.0%）」や「語学・コンピューターなどの資格、技能（29.0%）」への学習意欲も感じられる。

一方、現在学んでいることや今後学びたいことが「特にない」という回答も14.1%に達している。



男女別にみると、「郷土史、史跡研究、古典研究などの歴史」については、「女性（11.9%）」よりも「男性（25.4%）」の回答の方が13.5ポイント上回っている。

一方、「男性」の回答を「女性」が大きく上回っているものとしては、「体操・太極拳などの健康づくり、スポーツ」、「美術、書道、演劇、音楽などの芸術文化」、「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」であり、これらの回答は「男性」と10ポイント以上の差がついている。

なお、「特にない」という回答は、「女性（11.6%）」より「男性（17.0%）」の方が多い。

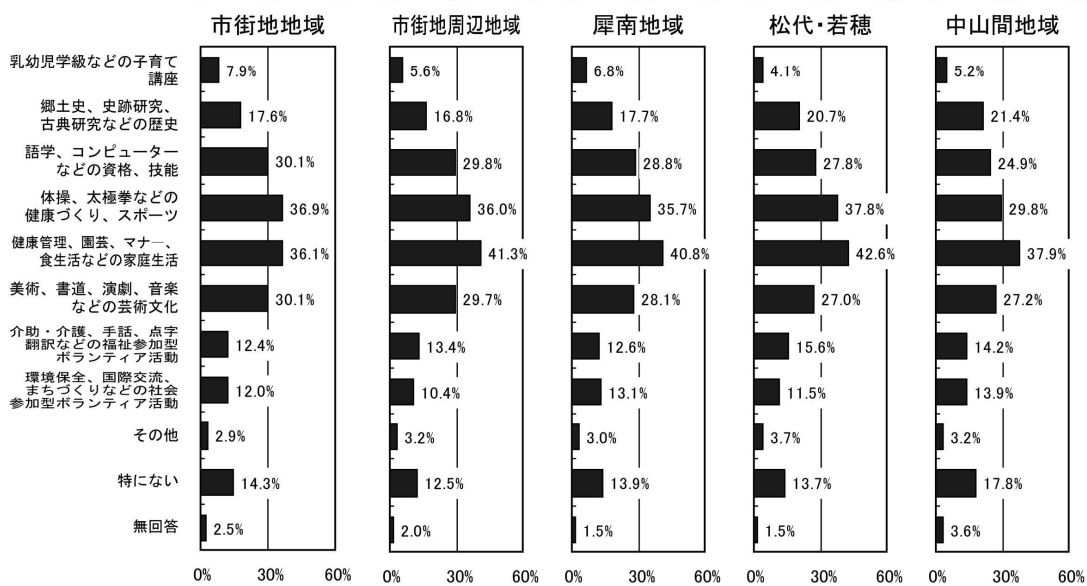
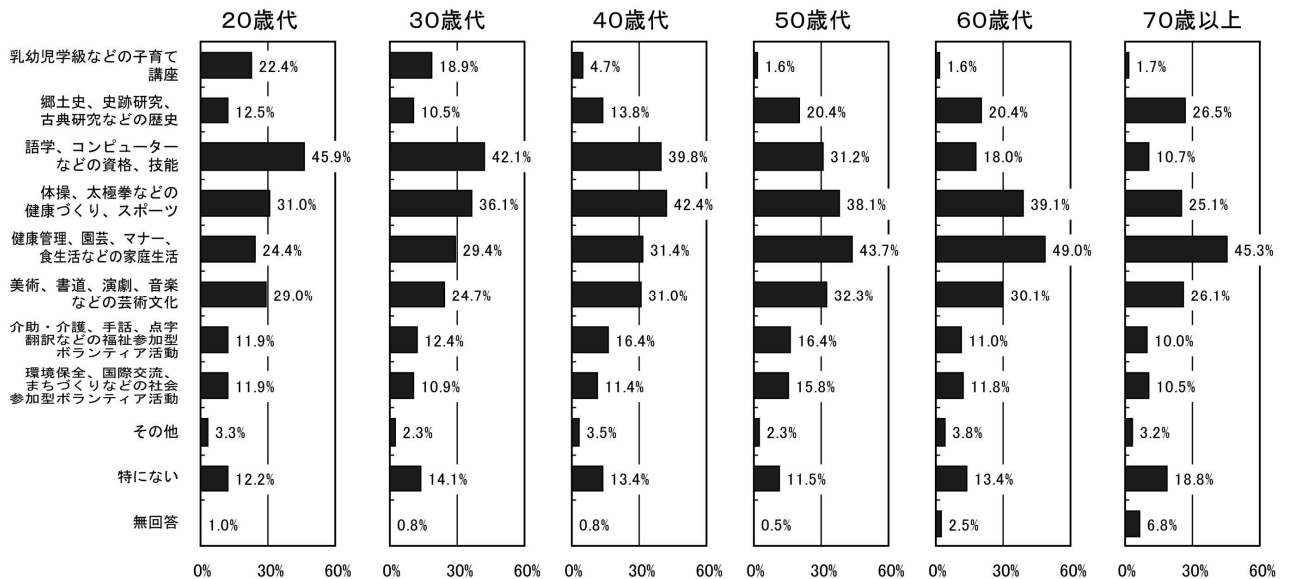
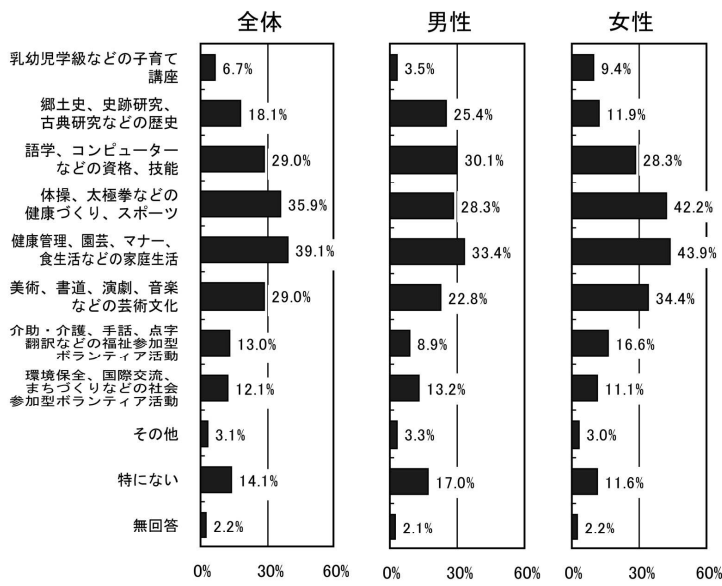
年代別でみると、「語学・コンピューターなどの資格、技能」は年代が低くなるに従って回答割合は高くなっている。

「乳幼児学級などの子育て講座」については、「20歳代」と「30歳代」で2割程度の回答が見られるが、それ以外の年代では5%未満となっている。

「郷土史、史跡研究、古典研究などの歴史」については、「40歳代」以下が10%台の回答であるのに対し、「50歳代」以上では20%以上の回答を得ており、「70歳以上」では26.5%に達している。

各年代で最も回答が多かったものは、「20歳代」と「30歳代」では「語学・コンピューターなどの資格、技能」が、「40歳代」では「体操・太極拳などの健康づくり、スポーツ」が、「50歳代」以上では「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」となっている。

地域別では、「市街地地域」では「体操・太極拳などの健康づくり、スポーツ」が最も回答が多く、それ以外の地域では「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」が最も多い回答となった。

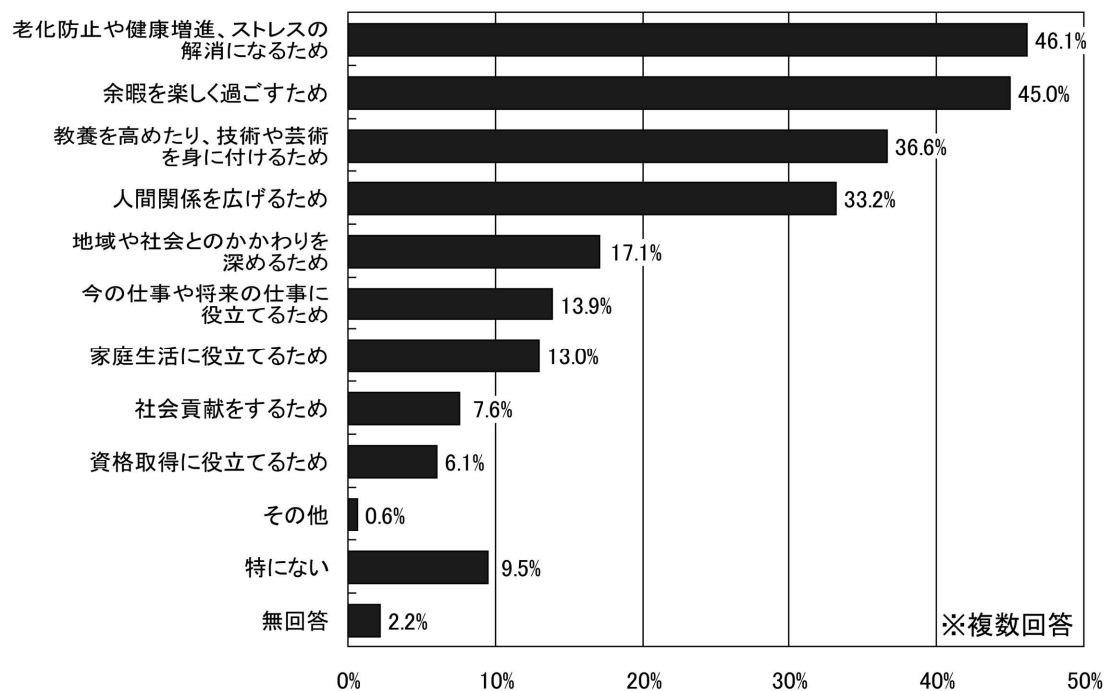


問13 あなたは、生涯学習活動をどんな目的で行っていますか。または行いたいと思いますか。
次の中から3つ以内で選び、○をしてください。

			教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため	人間関係を広げるため	余暇を楽しく過ごすため	地域や社会とのかかわりを深めるため	社会貢献をするため	老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため	家庭生活に役立てるため	今の仕事や将来の仕事に役立てるため	資格取得に役立てるため	その他	特にない	無回答	対象
全体	度数	1,253	1,138	1,543	586	262	1,579	445	475	208	20	324	77	3,426	
	割合	36.6%	33.2%	45.0%	17.1%	7.6%	46.1%	13.0%	13.9%	6.1%	0.6%	9.5%	2.2%	-	
性別	男性	度数	561	465	734	270	148	611	129	229	93	15	183	39	1,556
		割合	36.1%	29.9%	47.2%	17.4%	9.5%	39.3%	8.3%	14.7%	6.0%	1.0%	11.8%	2.5%	-
	女性	度数	690	670	805	314	113	961	312	246	114	5	140	36	1,858
		割合	37.1%	36.1%	43.3%	16.9%	6.1%	51.7%	16.8%	13.2%	6.1%	0.3%	7.5%	1.9%	-
年代	20歳代	度数	153	89	105	23	11	56	52	109	52	3	25	3	303
		割合	50.5%	29.4%	34.7%	7.6%	3.6%	18.5%	17.2%	36.0%	17.2%	1.0%	8.3%	1.0%	-
	30歳代	度数	271	158	172	45	37	120	104	144	60	1	52	6	523
		割合	51.8%	30.2%	32.9%	8.6%	7.1%	22.9%	19.9%	27.5%	11.5%	0.2%	9.9%	1.1%	-
	40歳代	度数	266	191	244	100	48	214	87	115	50	2	55	8	596
		割合	44.6%	32.0%	40.9%	16.8%	8.1%	35.9%	14.6%	19.3%	8.4%	0.3%	9.2%	1.3%	-
	50歳代	度数	229	204	321	105	61	313	62	58	24	2	46	4	609
		割合	37.6%	33.5%	52.7%	17.2%	10.0%	51.4%	10.2%	9.5%	3.9%	0.3%	7.6%	0.7%	-
	60歳代	度数	195	290	432	193	65	519	80	33	13	7	78	18	798
		割合	24.4%	36.3%	54.1%	24.2%	8.1%	65.0%	10.0%	4.1%	1.6%	0.9%	9.8%	2.3%	-
	70歳以上	度数	136	206	268	120	40	356	59	14	9	5	65	38	589
		割合	23.1%	35.0%	45.5%	20.4%	6.8%	60.4%	10.0%	2.4%	1.5%	0.8%	11.0%	6.5%	-
地域区分	市街地	度数	467	399	552	185	100	547	157	161	83	8	125	23	1,221
		割合	38.2%	32.7%	45.2%	15.2%	8.2%	44.8%	12.9%	13.2%	6.8%	0.7%	10.2%	1.9%	-
	市街地 周辺地域	度数	260	232	343	117	61	333	95	110	46	4	60	15	714
		割合	36.4%	32.5%	48.0%	16.4%	8.5%	46.6%	13.3%	15.4%	6.4%	0.6%	8.4%	2.1%	-
	犀南 地域	度数	321	284	375	159	63	408	113	125	50	6	87	20	880
		割合	36.5%	32.3%	42.6%	18.1%	7.2%	46.4%	12.8%	14.2%	5.7%	0.7%	9.9%	2.3%	-
松代・ 若穂	度数	102	101	126	52	19	134	30	42	11	1	16	6	270	
	割合	37.8%	37.4%	46.7%	19.3%	7.0%	49.6%	11.1%	15.6%	4.1%	0.4%	5.9%	2.2%	-	
中山間 地域	度数	92	107	134	68	15	145	44	34	17	1	32	12	309	
	割合	29.8%	34.6%	43.4%	22.0%	4.9%	46.9%	14.2%	11.0%	5.5%	0.3%	10.4%	3.9%	-	

生涯学習活動の目的については、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため（46.1%）」、「余暇を楽しく過ごすため（45.0%）」という回答が目立った。

「教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため（36.6%）」や「人間関係を広げるため（33.2%）」という回答も3割を超えている。



男女別にみると、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」という回答は、「女性（51.7%）」が「男性（39.3%）」を10ポイント以上上回っている。このほか、「家庭生活に役立てるため」や「人間関係を広めるため」という回答も、「女性」が「男性」を上回っている。

一方、「男性」の方が「女性」を上回る回答としては、「余暇を楽しく過ごすため」、「社会貢献をするため」などである。

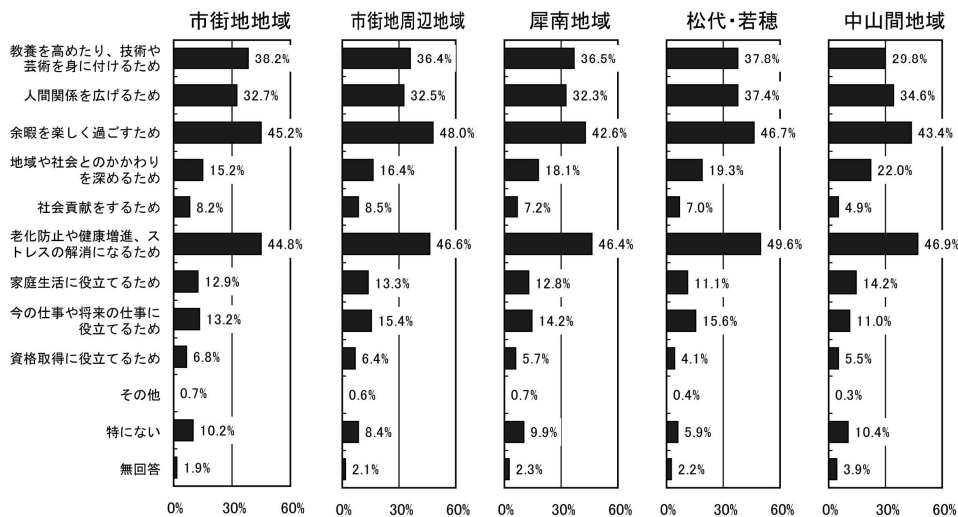
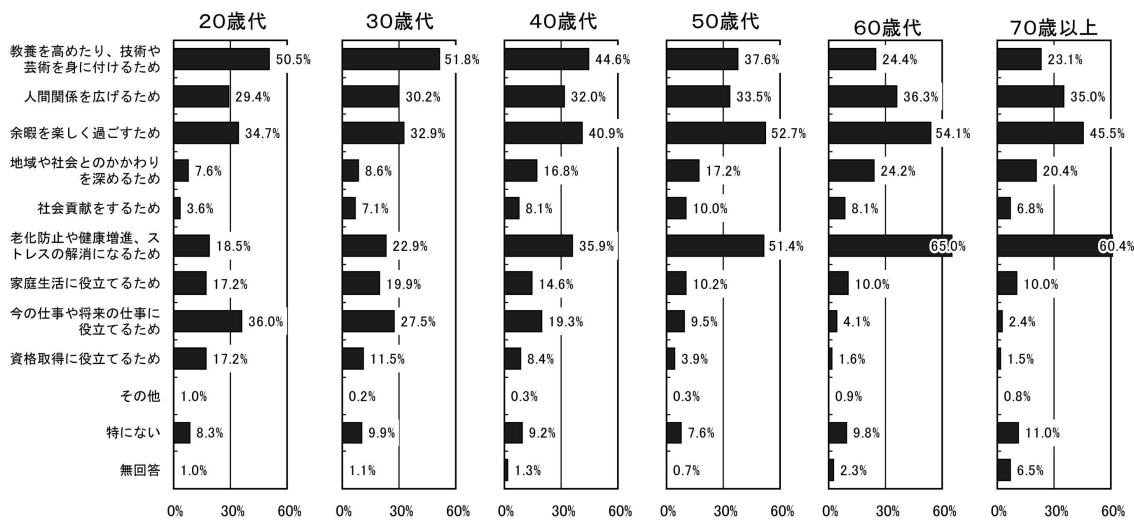
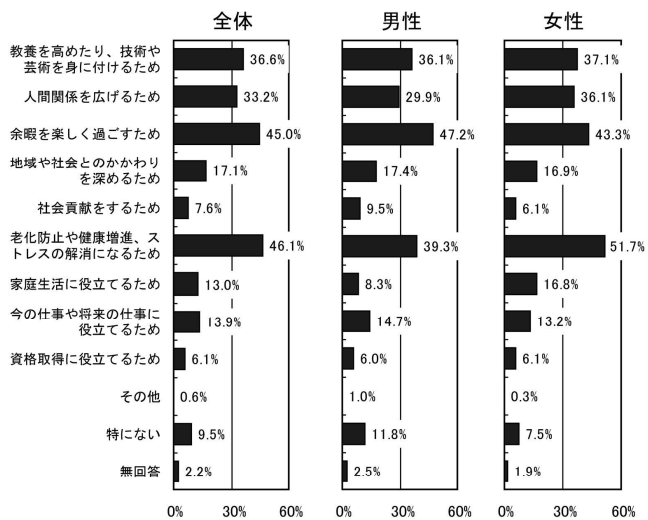
年代別でみると、「地域や社会とのかかわりを深めるため」および「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」という回答は、年代が高くなるに従って回答割合も高くなる傾向にある。特に「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」については、「20歳代」が18.5%であるのに対し、「60歳代」では65.0%に達している。

一方、「教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため」、「今の仕事や将来の仕事に役立てるため」、「資格取得に役立てるため」という回答は、年代が低くなるに従って、回答割合は高くなる傾向にある。

回答が最も多かった項目としては、「40歳代」以下は「教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため」、「50歳代」では「余暇を楽しく過ごすため」、「60歳代」以上では「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」となっている。

地域別では、「地域や社会とのかかわりを深めるため」という回答は「市街地地域」で15.2%であるのに対し、「中山間地域」では22.0%となっている。

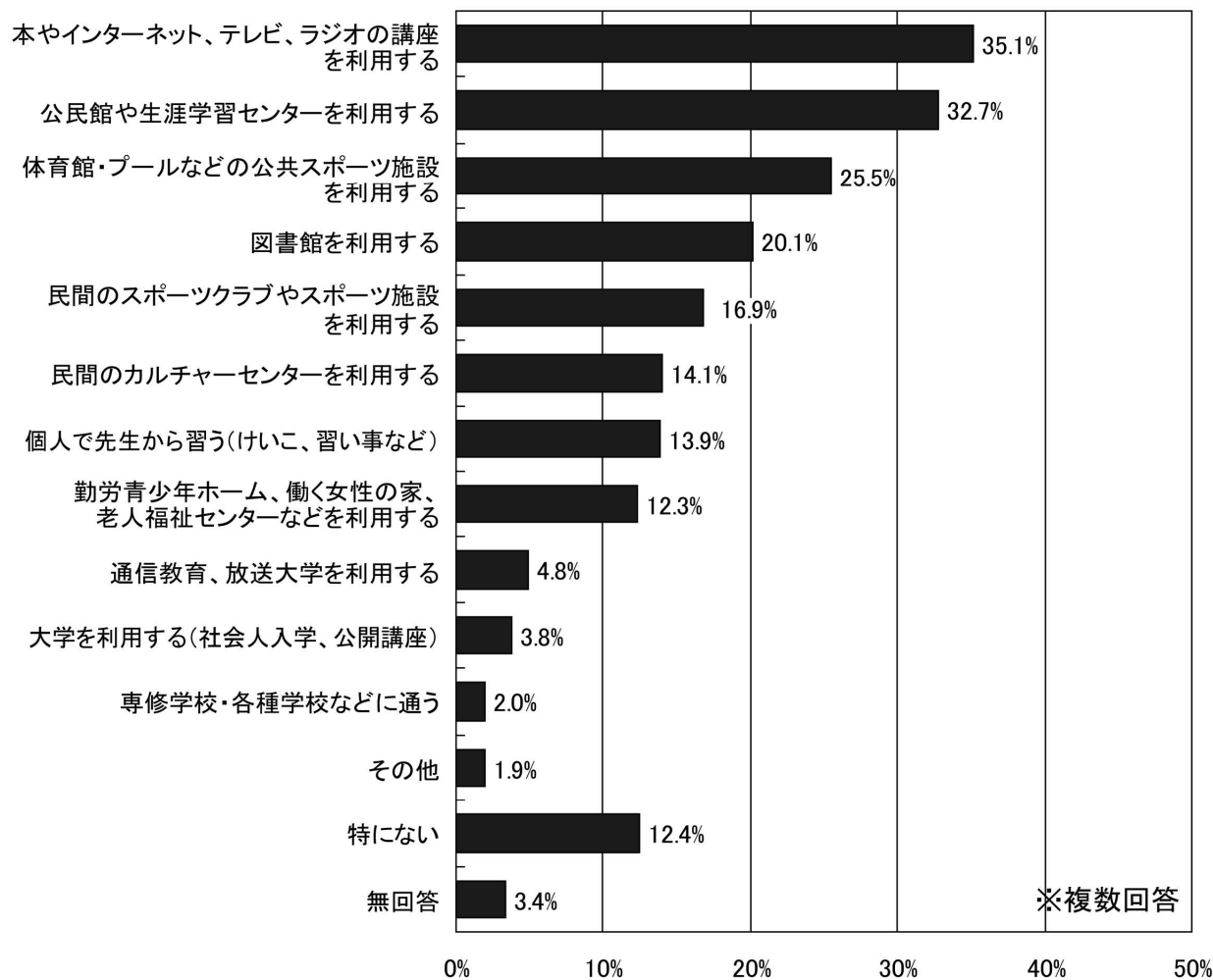
「市街地地域」および「市街地周辺地域」では「余暇を楽しく過ごすため」が最も多い回答であった。それ以外の地域では「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」が最も多い回答であった。



問 14 あなたは生涯学習活動を主にどのような方法で行っていますか。または行いたいと思いますか。次の中から3つ以内で選び、○をしてください。

		本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する	公民館や生涯学習センターを利用する	図書館を利用する	体育館・プールなどの公共スポーツ施設を利用する	社センターなどを利用する	勤労青少年ホーム、働く女性の家、老人福祉センターなどを利用する	民間のスポーツクラブやスポーツ施設を利用する	民間のカルチャーセンターを利用する	専修学校・各種学校などに通う	大学を利用する	通信教育、放送大学を利用する	個人で先生から習う	その他	特になし	無回答	対象
全体	度数	1,203	1,122	690	874	423	578	482	67	130	166	476	66	425	115	3,426	
	割合	35.1%	32.7%	20.1%	25.5%	12.3%	16.9%	14.1%	2.0%	3.8%	4.8%	13.9%	1.9%	12.4%	3.4%	-	
性別	男性	669	400	325	402	122	253	161	32	60	68	138	43	234	50	1,556	
	割合	43.0%	25.7%	20.9%	25.8%	7.8%	16.3%	10.3%	2.1%	3.9%	4.4%	8.9%	2.8%	15.0%	3.2%	-	
	女性	531	719	360	471	300	325	320	35	70	97	338	23	188	63	1,858	
	割合	28.6%	38.7%	19.4%	25.3%	16.1%	17.5%	17.2%	1.9%	3.8%	5.2%	18.2%	1.2%	10.1%	3.4%	-	
年代	20歳代	157	41	72	70	15	64	34	27	15	25	50	4	28	2	303	
	割合	51.8%	13.5%	23.8%	23.1%	5.0%	21.1%	11.2%	8.9%	5.0%	8.3%	16.5%	1.3%	9.2%	0.7%	-	
	30歳代	228	115	101	145	54	97	76	16	20	35	73	15	54	6	523	
	割合	43.6%	22.0%	19.3%	27.7%	10.3%	18.5%	14.5%	3.1%	3.8%	6.7%	14.0%	2.9%	10.3%	1.1%	-	
	40歳代	227	165	125	186	61	130	94	14	31	41	87	9	72	10	596	
	割合	38.1%	27.7%	21.0%	31.2%	10.2%	21.8%	15.8%	2.3%	5.2%	6.9%	14.6%	1.5%	12.1%	1.7%	-	
	50歳代	235	227	149	167	63	109	94	3	29	35	77	11	59	8	609	
	割合	38.6%	37.3%	24.5%	27.4%	10.3%	17.9%	15.4%	0.5%	4.8%	5.7%	12.6%	1.8%	9.7%	1.3%	-	
	60歳代	219	341	150	212	144	123	127	5	23	22	114	16	99	27	798	
	割合	27.4%	42.7%	18.8%	26.6%	18.0%	15.4%	15.9%	0.6%	2.9%	2.8%	14.3%	2.0%	12.4%	3.4%	-	
	70歳以上	133	233	92	94	85	55	56	2	12	8	75	11	110	62	589	
	割合	22.6%	39.6%	15.6%	16.0%	14.4%	9.3%	9.5%	0.3%	2.0%	1.4%	12.7%	1.9%	18.7%	10.5%	-	
地域区分	市街地地域	415	382	248	276	153	213	195	24	59	71	179	25	156	34	1,221	
	割合	34.0%	31.3%	20.3%	22.6%	12.5%	17.4%	16.0%	2.0%	4.8%	5.8%	14.7%	2.0%	12.8%	2.8%	-	
	市街地 周辺地域	259	240	141	205	81	120	102	18	23	26	110	17	83	23	714	
	割合	36.3%	33.6%	19.7%	28.7%	11.3%	16.8%	14.3%	2.5%	3.2%	3.6%	15.4%	2.4%	11.6%	3.2%	-	
	犀南地域	315	278	196	246	107	160	115	14	27	38	104	13	107	31	880	
	割合	35.8%	31.6%	22.3%	28.0%	12.2%	18.2%	13.1%	1.6%	3.1%	4.3%	11.8%	1.5%	12.2%	3.5%	-	
	松代・若穂	96	97	47	79	41	47	43	6	8	13	40	5	22	11	270	
	割合	35.6%	35.9%	17.4%	29.3%	15.2%	17.4%	15.9%	2.2%	3.0%	4.8%	14.8%	1.9%	8.1%	4.1%	-	
	中山間地域	109	118	51	63	35	30	26	3	9	18	40	6	52	12	309	
	割合	35.3%	38.2%	16.5%	20.4%	11.3%	9.7%	8.4%	1.0%	2.9%	5.8%	12.9%	1.9%	16.8%	3.9%	-	

生涯学習活動の主な方法については、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する (35.1%)」が最も多い回答となった。「公民館や生涯学習センターを利用する (32.7%)」、「体育館・プールなどの公共スポーツ施設を利用する (25.5%)」、「図書館を利用する (20.1%)」がこれに続いており、公共施設の利用が多いことがうかがえる。



男女別でみると、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」という回答は「女性(28.6%)」より「男性(43.0%)」の方が多い。

「女性」で最も回答が多かったものは「公民館や生涯学習センターを利用する(38.7%)」であり、「男性(25.7%)」を13.0ポイント上回っている。

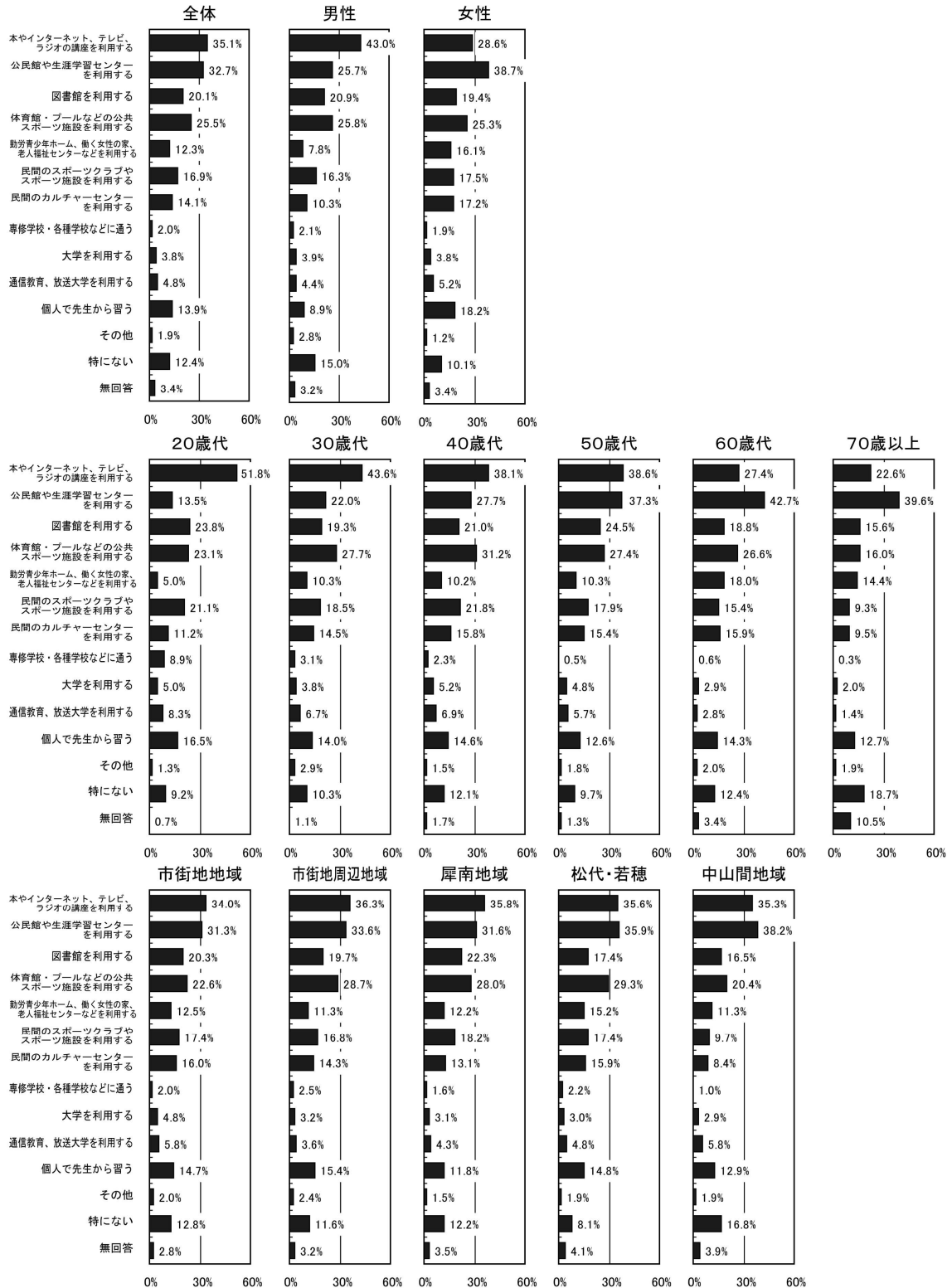
このほか、「勤労青少年ホーム、働く女性の家、老人福祉センターなどを利用する」、「民間のカルチャーセンターを利用する」、「個人で先生から習う」についても、「女性」の回答割合が「男性」を上回っている。

年代別でみると、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」は年代が低くなるにしたがって回答割合が高くなる傾向にあり、「20歳代」では51.8%に達している。

「専修学校・各種学校に通う」については、「20歳代」で8.9%の回答が見られたが、それ以外の年代では非常に低い割合となった。

一方、「公民館や生涯学習センターを利用する」については年代が高くなるにしたがって回答割合も高くなる傾向にあり、「20歳代」が13.5%であるのに対し、「60歳代」では42.7%と大きく違いが見られる。

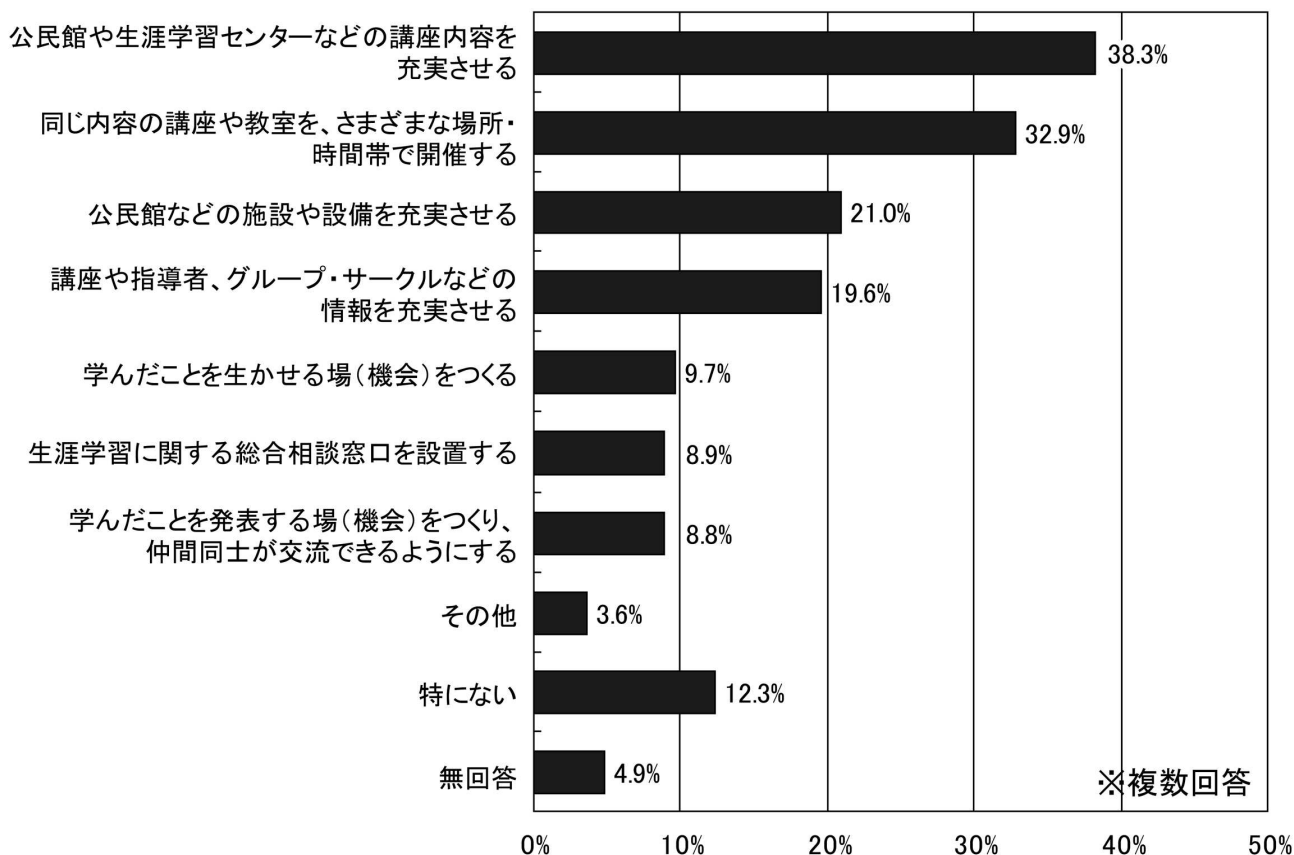
地域別では、傾向に大きな違いは見られないが、「民間のスポーツクラブやスポーツ施設を利用する」および「民間のカルチャーセンターを利用する」という回答は「中山間地域」だけが1割に達しない結果となっている。



問 15 生涯学習活動をさらに充実させるため、長野市が特に力を入れて取り組むべきものは何だと思いますか。次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

		座内容を充実させる	公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる	同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する	公民館などの施設や設備を充実させる	学んだことを発表する場(機会)をつくり、仲間同士が交流できるようにする	学んだことを生かせる場(機会)をつくる	講座や指導者グループ・サークルなどの情報を充実させる	生涯学習に関する総合相談窓口を設置する	その他	特にない	無回答	対象
全体		度数 割合	1,312 38.3%	1,127 32.9%	719 21.0%	303 8.8%	332 9.7%	673 19.6%	304 8.9%	125 3.6%	423 12.3%	167 4.9%	3,426 -
性別	男性	度数 割合	517 33.2%	418 26.9%	324 20.8%	150 9.6%	166 10.7%	319 20.5%	153 9.8%	75 4.8%	234 15.0%	70 4.5%	1,556 -
	女性	度数 割合	790 42.5%	706 38.0%	392 21.1%	153 8.2%	165 8.9%	354 19.1%	148 8.0%	50 2.7%	188 10.1%	94 5.1%	1,858 -
年代	20歳代	度数 割合	104 34.3%	108 35.6%	44 14.5%	23 7.6%	42 13.9%	76 25.1%	31 10.2%	13 4.3%	36 11.9%	4 1.3%	303 -
	30歳代	度数 割合	184 35.2%	214 40.9%	85 16.3%	34 6.5%	53 10.1%	140 26.8%	45 8.6%	27 5.2%	54 10.3%	13 2.5%	523 -
	40歳代	度数 割合	235 39.4%	229 38.4%	105 17.6%	49 8.2%	70 11.7%	127 21.3%	50 8.4%	21 3.5%	60 10.1%	13 2.2%	596 -
	50歳代	度数 割合	239 39.2%	217 35.6%	114 18.7%	65 10.7%	62 10.2%	140 23.0%	71 11.7%	26 4.3%	57 9.4%	13 2.1%	609 -
	60歳代	度数 割合	318 39.8%	247 31.0%	199 24.9%	76 9.5%	69 8.6%	137 17.2%	75 9.4%	25 3.1%	111 13.9%	42 5.3%	798 -
	70歳以上	度数 割合	229 38.9%	108 18.3%	172 29.2%	56 9.5%	35 5.9%	53 9.0%	31 5.3%	13 2.2%	103 17.5%	82 13.9%	589 -
地域区分	市街地地域	度数 割合	470 38.5%	380 31.1%	241 19.7%	111 9.1%	116 9.5%	259 21.2%	106 8.7%	48 3.9%	160 13.1%	55 4.5%	1,221 -
	市街地周辺地域	度数 割合	279 39.1%	242 33.9%	161 22.5%	54 7.6%	77 10.8%	143 20.0%	64 9.0%	21 2.9%	75 10.5%	33 4.6%	714 -
	犀南地域	度数 割合	335 38.1%	312 35.5%	187 21.3%	59 6.7%	71 8.1%	173 19.7%	84 9.5%	38 4.3%	109 12.4%	43 4.9%	880 -
	松代・若穂	度数 割合	100 37.0%	91 33.7%	53 19.6%	39 14.4%	31 11.5%	51 18.9%	24 8.9%	6 2.2%	30 11.1%	16 5.9%	270 -
	中山間地域	度数 割合	119 38.5%	90 29.1%	72 23.3%	37 12.0%	33 10.7%	40 12.9%	22 7.1%	11 3.6%	46 14.9%	17 5.5%	309 -

生涯学習活動の充実のため、特に力を入れて取り組むべきものとしては、「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる(38.3%)」、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する(32.9%)」の順となった。

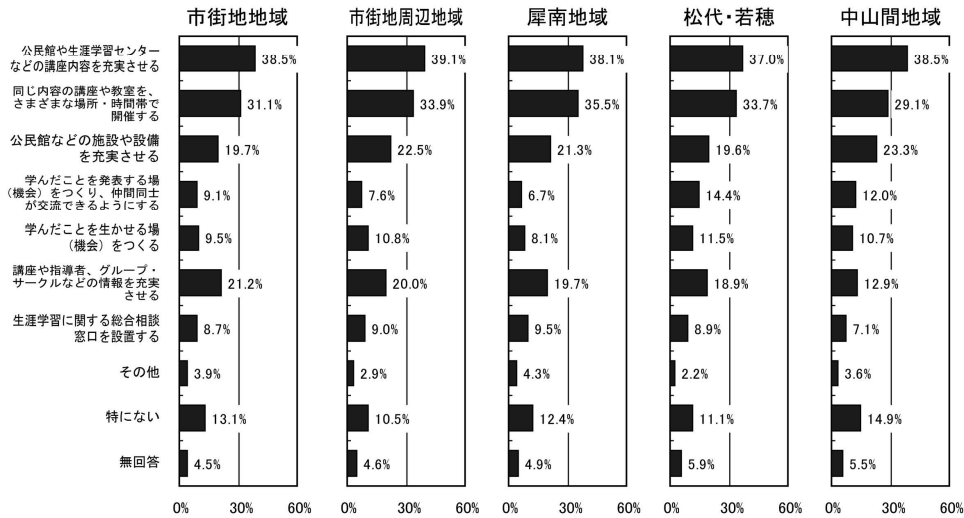
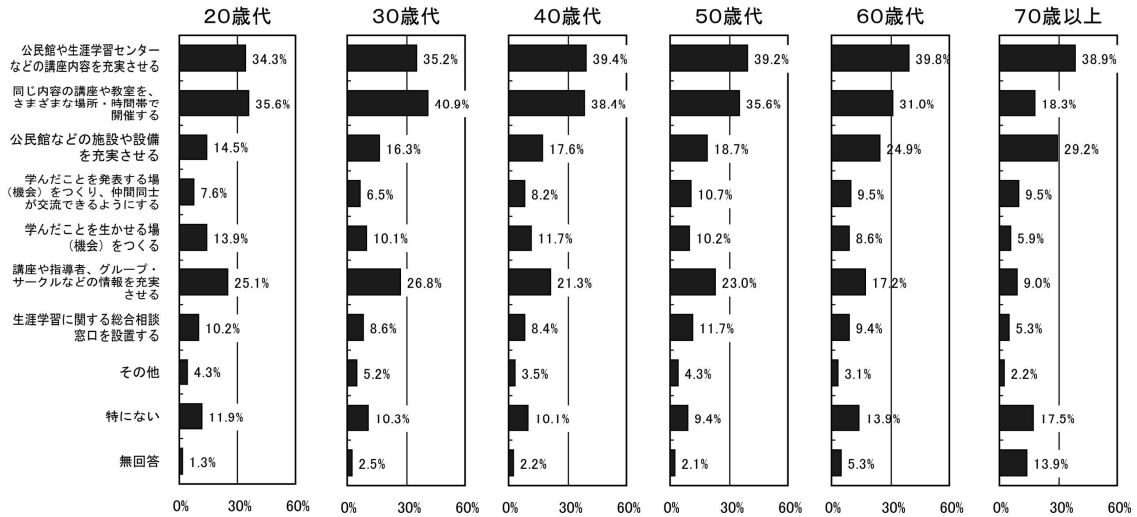
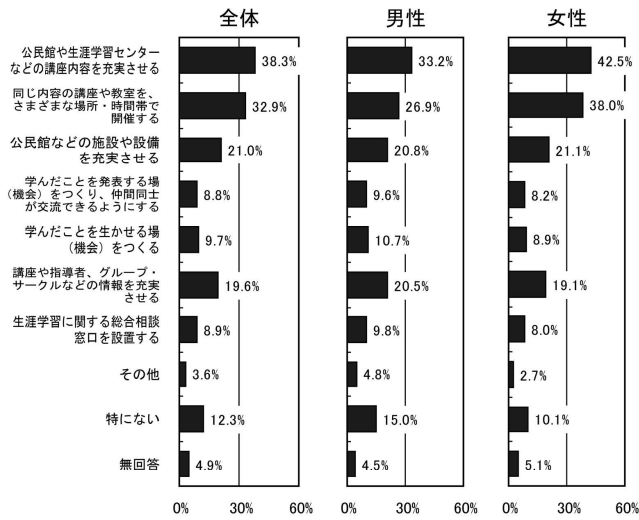


男女別でみると、「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」および「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」という回答は、ともに「男性」より「女性」の割合が高い。

年代別でみると、「20歳代」と「30歳代」では「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」が最多であるのに対し、それ以外の年代では「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」が最多となった。なお、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」については、「30歳代」が40.9%であるのに対し、「70歳以上」では18.3%であり、20ポイント以上の差がついている。

「公民館などの施設や設備を充実させる」は年代が高くなるにしたがって回答割合も高くなっている。一方で、「学んだことを生かせる場(機会)をつくる」および「講座や指導者、グループ・サークルなどの情報を充実させる」については、年代が低くなるにしたがって回答割合は高くなる傾向にある。

地域別では、傾向に大きな違いは見られないが、「学んだことを発表する場(機会)をつくり、仲間同士が交流できるようにする」という回答は、「松代・若穂(14.4%)」と「中山間地域(12.0%)」が比較的多く、その他の地域では1割に達しない結果となっている。



長野市生涯学習推進計画目標値及び設定根拠等

各指標に対する目標値（指標数 22）に対する目標値及び設定の根拠等については、次の表のとおりである。

指標項目	現状値 (H22年度)	目標値 (H28年度)	設定根拠（設定方法）	指標の出展	担当課
施策 1 市民が自ら学べる環境づくり～今を充実させ、未来をひらく～					
市立公民館での子育て講座の開催回数	303	350	29公民館で月1回（年12回）の開催を目標とする。	新規	生涯学習課
地域子育て支援センター及び子ども広場の利用者数	147,299	150,000	子どもの数の減少等による、今後の利用者数の減少を踏まえ、利用者数の維持を目指す。	第4次長野市総合計画後期基本計画	保育家庭支援課
「おひざで絵本」事業での絵本配付率	86.9	95.0	H21からH23の平均増加率（3.9%）から見込む。	新規	生涯学習課
市立公民館での家庭教育講座の年間開催回数	317	370	H22年度実績でながの子ども未来プランのH26年度目標値の272回を上回っている。全29公民館での開催を見込み、実施している23公民館では年1回増、未実施の6公民館では年5回（冬季を除き2月に1回）の実施を目標とする。	ながの子ども未来プラン	生涯学習課
家庭教育支援事業への年間参加者数	17,661	20,000	公民館関係は現状維持（10,851人→11,000人）を目標とする。学校PTAの家庭教育力向上事業は20校6,810人→30校9,000人への増加を目標とする。	第4次長野市総合計画後期基本計画	生涯学習課
少年科学センター年間入館者数	90,721	93,200	指定管理移行前のH17年度の水準（93,200人）を上回ることを目標とする。	新規	生涯学習課
青少年錬成センター年間利用者数	14,746	15,300	指定管理移行前のH17年度の水準（15,288人）を上回ることを目標とする。	新規	生涯学習課
施策 2 市民と行政で協力しあう地域づくり～生涯学習の成果を生かす～					
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	52.8	69.6	H19からH22の平均増加率に計画期間を乗じて見込む。	第4次長野市総合計画後期基本計画	体育課
市民会館等市有の文化・芸術施設利用者数	378,623	520,000	長野・篠ノ井市民会館、松代・若里・東部文化ホール、市設置の市民ギャラリーとぷら座BOXの年間利用者数で、H23年度以降の各年度の稼働率は現状維持を目標とし、新市民会館の利用推計(266,300人)を加える。	第4次長野市総合計画後期基本計画	生涯学習課
環境学習会年間参加者数	2,425	3,100	環境政策課主催参加者数：過去5年間の平均(167人)の2割増である200人を見込む。 地区公民館主催参加者数：各公民館年間平均参加者数(77人)の約3割増である100人を見込むことで、2,900人(100人×29公民館)の年間参加者数を見込む。(200人+2,900人=3,100人)	第4次長野市総合計画後期基本計画	環境政策課
国際交流コーナーの年間利用者数	12,412	14,200	H20からH22の平均増加者（年300人増加）から見込む。	第4次長野市総合計画後期基本計画	秘書課
人権同和教育に関する各地区住民自治協議会が実施する研修会への年間参加者数	17,767	21,000	1地区当たり平均100人の増加を目標とする。32地区×100人=3,200人	第4次長野市総合計画後期基本計画	人権同和政策課
男性の家事（炊事・掃除・洗濯・買い物など）への参画率	69.5	80.0	男女共同参画に関する市民意識と実態調査（H22年度）における家事をしている男女全体割合である84%に近づけることを見込む。	第4次長野市総合計画後期基本計画	男女共同参画推進課
市立公民館における地域の魅力発見のための年間講座開催回数	134	200	全29公民館での開催を見込み、実施している25公民館では年2回（前期・後期各1回）の増を、未実施の4公民館では年4回（四半期毎）の実施を目標とする。	新規	生涯学習課
市立公民館におけるコミュニティ活動リーダー育成のための年間講座開催回数	27	29	29公民館での開催を見込む。	新規	生涯学習課

指標項目	現状値 (H22年度)	目標値 (H28年度)	設定根拠（設定方法）	指標の出展	担当課
施策3 市民と行政で支えあう生涯学習～組織を生かし仕組みをつくる～					
生涯学習センター平均稼働率	68.1	70.0	第4次長野市総合計画後期基本計画の利用者数の目標値180,000人（H22の174,886人2.9%増）から、稼働率も2.9%増の70%にすることを目標とする。	新規	生涯学習課
放送大学長野ランチ（センター外視聴施設）利用状況	1,333	1,500	H21からH22の放送大学学生数の増加率（2%）から、年2%ずつの増加を見込む。	新規	生涯学習課
市立公民館の年間利用者数	1,045,705	1,086,000	H20からH22の年間平均増加者数6,800人（市町村合併による影響分を除く）から見込む。1,045,705人+（6,800人×6年）	新規	生涯学習課
市民一人当たりの市立図書館貸出冊数	4.5	4.7	貸出数の推移から年間10,000冊の増を見込む。1,741,242冊+60,000冊（年間10,000冊×6）÷387,146人=4.7冊	第4次長野市総合計画後期基本計画	長野図書館、南部図書館
インターネットによる図書館資料予約件数	41,625	52,000	前年度比倍率の実績（166%、122%、110%）から推計し、6年間で25%増を見込む。	新規	長野図書館、南部図書館
市立図書館点字・録音図書貸出数	1,820	2,500	※H22→H23はサピエ登録で380冊増加。今後は、年間3人×20冊の増→60冊×5年=300点増を見込む。	新規	長野図書館
市立図書館おはなし会参加者数	2,497	2,700	現状維持を目標とし、さらにお話し会1回あたり1人の増（年間35人）を見込む。2,497人+（35人×6年）	新規	長野図書館、南部図書館

長野市生涯学習推進計画策定委員会名簿

委員長	信州大学全学教育機構	小山 茂喜
副委員長	長野市PTA連合会	小山 恵里香
委員 (五十音順)	公募委員	安達 佳与子
	長野県短期大学	荒 敬
	公募委員	加藤 智久
	長野市専修学校各種学校協会	黒木 亮谷
	長野市立公民館連絡協議会	小林 公子
	長野市地方文化財保護審議会	玉城 司
	長野市社会福祉協議会	土屋 ゆかり
	信州大学教育学部	永松 裕希
	長野市社会教育委員	西澤 鈴枝
	長野市私立保育協会	花岡 正典
	長野市幼稚園連盟	原田 誠龍
	長野市身体障害者福祉協会	古澤 明雄
	長野市校長会	松澤 功
	長野市スポーツ振興審議会	峯村 威男
	長野市文化芸術協議会	宮澤 博
	長野市立図書館協議会	森山 環
	長野市地域女性ネットワーク	柳原 静子
公募委員	山邊 千登勢	